

# 九州・沖縄地区ニュース

//////////////////// No.112 2014.3 //////////////////////

日本学術会議 九州・沖縄地区 代表幹事 箱田裕司

九州・沖縄地区の会員、連携会員の皆様におかれては、平素より地区の学術活動の中心となってお活躍いただいておりますことを、お礼申し上げます。九州・沖縄地区ニュース112号をお届けします。

昨年から今年にかけて、科学研究に対する社会の信頼を揺るがす事件が相次いでおります。科学研究費補助金の不正使用の問題、白血病治療薬の臨床試験データが大学病院から治療薬を販売するノバルティスファーマ社に漏えいしていた問題、理化学研究所の小保方研究ユニットリーダーらの新万能細胞「STAP細胞」論文に関する不正問題など、最近、研究者の倫理感が問われる問題が続出しています。これらは社会の科学研究に対する信頼を根幹から揺るがす大問題だけに、当該の研究機関においてだけでなく、学術会議においても諸学会においても改めて研究者倫理について厳しく問い直す必要を感じます。

九州・沖縄地区会議では、平成25年度の活動として、平成25年11月にそれぞれ鹿児島大学と長崎大学の協力を得て、科学者懇談会と学術講演会を開催いたしました。

いずれの懇談会・学術講演会の際にも地区会議メンバー及び連携会員の皆様に多数参加していただきました。これからもさらに多くの会員、連携会員の皆様に働き掛け多い場としていけたらと思います。

鹿児島と長崎で開催された二つの学術講演会はそのいずれもが深刻な重い話題でした。鹿児島では「かごしまの水を考える」と題し、水利用と水質汚染、水が引き起こす土砂災害が、長崎では「地球市民としてのあなたへ」と題し、原発事故による被ばくと医療の取り組みが主なテーマでした。これらは九州・沖縄地区という地方の枠を超えた、世界が直面する重要な問題であり、貴重な研究報告と真剣な議論がなされ、迫力のある講演会でした。

今後とも九州・沖縄地区会議においては、地域における研究者の交流の場を提供し、地域と市民に向けた学術情報の発信に今まで以上に努めて参る所存です。

## 【科学者懇談会の開催】

平成25年度、九州・沖縄地区会議では、平成25年11月に鹿児島市及び長崎市にて科学者懇談会を実施いたしました。

例年、九州・沖縄地区会議が主催する科学者懇談会においては、その時々々の学術を取り巻く環境が変わる中、日本学術会議の会員と、各地域にて研究活動を行っている研究者との間で意見が交わされております。

冒頭、鹿児島市では家副会長から、長崎市では小林副会長から日本学術会議の活動概要について説明があった後、社会における科学の役割や国際的な学術交流の促進、特にアジア地域における連携の強化などについて活発な議論が行われました。

### 第1回 科学者懇談会

日 時：平成25年11月18日（月）13:00～14:00

場 所：鹿児島大学 事務局棟4階 第三会議室（住所：鹿児島市郡元1-21-40）

出席者：

日本学術会議	副会長	家 泰弘
	九州・沖縄地区会議代表幹事	箱田 裕司
	九州・沖縄地区会議会員	河野 正憲
	九州・沖縄地区会議会員	古谷野 潔
	九州・沖縄地区会議会員	前原 喜彦
鹿児島大学	学長	前田 芳實
	理事（企画担当）	高松 英夫
	理事（教育担当）	清原 貞夫
	理事（研究担当）	住吉 文夫
	法文学部長	平井 一臣
	教育学部長	武隈 晃
	理学部長	與倉 昭治
	医学部長	佐野 輝
	医学部・歯学部附属病院長	熊本 一朗
	歯学部長	島田 和幸
	農学部長	富永 茂人
	共同獣医学部長	高瀬 公三
	理工学研究科長	近藤 英二
医歯学総合研究科長	鳥居 光男	

	司法政策研究科長	米田 憲市
	臨床心理学研究科長	松木 繁
	自然科学教育研究支援センター長	蔵脇 淳一
	産学官連携推進センター長	福島 誠治
	医歯学総合研究科・教授（連携会員）	秋葉 澄伯
	法文学部・教授（連携会員）	新田 栄治
	理工学研究科・特任教授（連携会員）	面高 俊宏
鹿児島女子短期大学	学長	幾留 秀一



## 第2回 科学者懇談会

日 時：平成25年11月29日（金）12:30～13:30

場 所：長崎大学医学部ポッセパ会館1階（住所：長崎市坂本1-12-4）

出席者：

日本学術会議	副会長	小林 良彰
	九州・沖縄地区会議代表幹事	箱田 裕司
	九州・沖縄地区会議会員	高原 淳
長崎大学	学長	片峰 茂
	理事（研究・社会貢献担当）・副学長	調 漸
	理事（国際・附置研究所担当）・副学長（会員）	山下 俊一
	医歯薬学総合研究科・教授（連携会員）	根本 孝幸
	熱帯医学研究所・教授（連携会員）	平山 壽哉
長崎県立大学	副学長	正木 基文
長崎ウエスレヤン大学	学長	森 泰一郎
佐世保高等工業専門学校	校長・連携会員	中尾 充宏



## 【学術講演会の開催】

九州・沖縄地区会議では、九州各県において、地元大学等の協力を得て、科学者懇談会・学術講演会を開催しています。平成25年度においては、平成25年11月に鹿児島市及び長崎市にて実施いたしました。

### 「かごしまの水を考える- 鹿児島大学「水」研究最前線-」 鹿児島大学

日 時 : 平成25年11月18日(月) 14:30~17:00

場 所 : 鹿児島大学 稲盛会館 キミ&ケサメモリアルホール(住所:鹿児島市郡元1-21-40)

平成25年11月18日(金)、鹿児島市において、日本学術会議主催、鹿児島大学ほか鹿児島県内の複数の教育研究機関の共催で、「かごしまの水を考える- 鹿児島大学「水」研究最前線-」をテーマにした学術講演会を開催しました。

家泰弘副会長及び鹿児島大学前田学長のご挨拶の後、鹿児島大学農学部の靱井和朗教授、鹿児島大学農学部・地域防災教育研究センターの地頭菌隆教授及び鹿児島大学水産学部の前田広人教授の3名の先生方を講師に迎え、テーマに沿ったご講演を行っていただきました。

当日は、大学関係者の他一般市民も含め、約160名の参加がありました。

### 【講演テーマ】

1. 梶井和朗教授  
『「いのち育む水資源と水循環」～池田湖の水利  
用と島嶼の地下水資源について～』
2. 地頭菌隆教授  
『「水と災害」～火山地域の水の流れと土砂災害  
について～』
3. 前田広人教授  
『「水と生活」～南九州における赤潮およびアオ  
コ等による水環境汚染について～』



### 講演会の感想(アンケート調査から抜粋)

#### 20代男性

非常に興味深く、鹿児島に密着した身近なテーマが多く、親しみやすかった。

#### 20代女性

非常に分かりやすく講演いただき、興味深く拝聴させていただきました。有り難うございました。

#### 60代男性

人間の生活生存にとって、欠かすことができない水に関する問題について、様々な科学的な取組がされていることを興味深く聞くことができた。

「地球市民としてのあなたへ ～フクシマの復興に向けたアカデミアの挑戦～」 長崎大学

日 時 : 平成25年11月29日 (金) 14:00~17:00

場 所 : 長崎大学 医学部良順会館 ボードインホール (住所: 長崎市坂本1-12-4)

平成25年11月29日(金)、長崎市において、日本学術会議、長崎大学及び長崎大学原爆後障害医療研究所主催、福島県、長崎県及び長崎県医師会ほか複数の地方公共団体等の共催で、「地球市民としてのあなたへ ～フクシマの復興に向けたアカデミアの挑戦～」をテーマにした学術講演会を開催しました。

小林良彰副会長及び長崎大学片峰茂学長のご挨拶の後、国際原子力機関 事故・緊急センターのEduardo Daniel Herrera Reyes氏、福島県立医科大学放射線健康管理学講座の大津留晶教授、長崎大学原爆後障害医療研究所社会医学部門の高村昇教授及びシンガポール大学のGregory K. Clancy准教授の4名の先生方を講師に迎え、テーマに沿ったご講演を行っていただきました。

当日は、大学関係者の他一般市民も含め、約100名の参加がありました。

【講演テーマ】

1. Eduardo Daniel Herrera Reyes 氏  
「緊急被ばく医療の国際的取り組みと国際原子力機関の緊急時対応援助ネットワーク」
2. 大津留晶教授  
「原発事故後の現況と健康への取り組み」
3. 高村昇教授  
「放射線健康リスク科学のこれから：長崎、チェルノブイリから福島へ」
4. Gregory K. Clancy 准教授  
「福島の歴史的予見の視点から：日本と自然災害」



講演会の感想(アンケート調査から抜粋)

30代男性

同時通訳が非常によかった。素晴らしい内容ばかりであった。今後に役立つ内容だった。

60代男性

大変タイムリーな講演会だった。長崎大学の原発事故への関わりと貢献も著名であり、良い企画であったと思う。

70代男性

(講演内容を) もっと多くの一般市民に知ってもらいたい。先生方が今後も引き続き研究されることを希望します。

## ○平成25年度事業報告○

### 1. 地区会議

#### 1)平成25年8月7日(書面回議)

(1)25年度日本学術会議九州・沖縄地区会議事業計画  
(鹿児島大学・長崎大学開催)について

### 2. 科学者懇談会の開催

#### 1)平成25年11月18日(月) 鹿児島大学(鹿児島市)

家 泰弘 日本学術会議副会長  
前田 芳實 鹿児島大学長 他

#### 2)平成25年11月29日(金) 長崎大学(長崎市)

小林 良彰 日本学術会議副会長  
片峰 茂 長崎大学長 他

### 3. 学術講演会等の開催

#### 1)平成25年11月18日(月) 鹿児島大学(鹿児島市)

「かごしまの水を考える- 鹿児島大学「水」研究最前線-

◇演題・講演者

①『「いのちむむ水資源と水循環」～池田湖の水利用と島嶼の  
地下水資源について～』

梶井 和朗 (鹿児島大学農学部・教授)

②『「水と災害」～火山地域の水の流れと土砂災害について～』

地頭菌 隆 (鹿児島大学農学部・

地域防災教育研究センター教授)

③『「水と生活」～南九州における赤潮およびアオコ等による  
水環境汚染について～』

前田 広人 (鹿児島大学水産学部・教授)

#### 2)平成25年11月29日(金) 長崎大学(長崎市)

「地球市民としてのあなたへ ～フクシマの復興に向けた  
アカデミアの挑戦」

◇演題・講演者

①「緊急被ばく医療の国際的取り組みと国際原子力機関の緊急  
時対応援助ネットワーク」

Eduardo Daniel Herrera Reyes  
(国際原子力機関 事故・緊急センター)

②「原発事故後の現況と健康への取り組み」

大津留 晶 (福島県立医科大学放射線健康管理学講座・  
教授)

③「放射線健康リスク科学のこれから：長崎、チェルノブイ  
リから福島へ」

高村 昇 (長崎大学原爆後障害医療研究所  
社会医学部門・教授)

④「福島の歴史的予見の視点から：日本と自然災害」

Gregory K. Clancy (シンガポール大学・准教授)

### 4. 地区ニュース(No.112号)発行(平成26年3月)

## ○平成26年度事業計画○

### 1. 地区会議

#### 1)平成26年6月 九州大学事務局(未定)

(1)26年度事業計画について  
(2)科学者懇談会・学術講演会の開催について  
(3)地区ニュースの発行について

#### 2)平成27年3月 九州大学事務局(未定)

(1)26年度事業実施報告について  
(2)地区ニュースの発行について

### 2. 科学者懇談会・学術講演会の開催

#### 1)開催地・開催場所:未定

### 3. 地区ニュース

#### 1)No.113号発行(27年3月)

## 日本学術会議九州・沖縄地区会議

伊藤 早苗 (第三部所属 九州大学 応用力学研究所主幹教授)

尾家 祐二 (第三部所属 九州工業大学 理事・副学長)

河野 正憲 (第一部所属 福岡大学 法科大学院教授)

木下 尚子 (第一部所属 熊本大学 文学部教授)

小松 利光 (第三部所属 九州大学 大学院工学研究院教授)

古谷野 潔 (第二部所属 九州大学 大学院歯学研究院教授)

高原 淳 (第三部所属 九州大学 先端物質化学研究所教授)

箱田 裕司 (第一部所属 九州大学 大学院人間環境学研究院教授)

前原 喜彦 (第二部所属 九州大学 大学院医学研究院消化器・総合外科教授)

満屋 裕明 (第二部所属 熊本大学 医学部教授)

安浦 寛人 (第三部所属 九州大学 理事・副学長)

※五十音順

・九州先端科学技術研究所所長)

発行 2014年3月

編集 日本学術会議 九州・沖縄地区会議

代表 箱田 裕司

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1

(九州大学企画部学術研究推進課内)

電話 092-642-2131 (ダイヤルイン)

FAX 092-642-7090